

## 演習 II

科目ナンバリング SEM-302  
必修 2単位

古市 将人

### 1. 授業の概要(ねらい)

卒業後、どのような進路をしようとも、ある問題を調査し、その結果を報告書として提出し、または人前でプレゼンテーションをする機会に遭遇する。本演習では、最終的に参加者が自分の関心のあるテーマを選び、文献調査や資料収集を通して、自らの問題関心を深める能力を構築することを目標としている。諸問題に関して理解を深めながら、調査能力、分析能力、結果の整理・発表の能力を身につけていくことがこの演習の目的である。以上の能力を身につけるために、本演習では、文献の輪読や資料の読解を行う。本演習では、基本的に、日本財政や地方財政に関する問題を取り上げる予定だが、参加者の問題関心に沿って演習をすすめていく。

秋学期は、個人発表などを通じて、資料の作成、プレゼン、レポートの書き方等を学んでもらう。

#### 秋学期の課題

●個人報告:自分で好きなテーマを設定し、それに関する勉強や調査を行い、その成果を発表する。担当教員に、各種の資料等を用いて「その問題の重要性を説明できる」のであれば、基本的にテーマは自由に決めることができる。

### 2. 授業の到達目標

- (1)他の人と協力して調査研究を行い、その成果を報告できる。
- (2)公的な統計・資料を収集し、特定のテーマについて調査することができる。
- (3)規定の様式に従ったレポートを執筆し、その内容を報告できる。

### 3. 成績評価の方法および基準

演習への参加状況や発表、最終報告の内容、それを元にしたレポートの水準を踏まえて、総合的に評価する。

### 4. 教科書・参考文献

#### 参考文献

伊藤修一郎 『政策リサーチ入門—仮説検証による問題解決の技法 増補版』 東京大学出版会、2022年。  
山口裕之 『コピペと言われないレポートの書き方教室:3つのステップ』 新曜社、2013年。  
戸田山和久 『新版 論文の教室—レポートから卒論まで』 NHK出版、2012年。  
高端正幸・伊集守直編 『福祉財政』 ミネルヴァ書房、2018年。  
駒村康平編 『貧困』 ミネルヴァ書房、2018年。  
橋木俊詔編 『格差社会』 ミネルヴァ書房、2012年。  
濱口桂一郎編 『福祉と労働・雇用』 ミネルヴァ書房、2013年。  
埋橋孝文編 『生活保護』 ミネルヴァ書房、2013年。  
井手英策編 『日本財政の現代史Ⅰ 土建国家の時代 一九六〇～八五年』 有斐閣、2014年。  
諸富徹編 『日本財政の現代史Ⅱ バブルとその崩壊 一九八六～二〇〇〇年』 有斐閣、2014年。  
小西砂千夫編 『日本財政の現代史Ⅲ 構造改革とその行き詰まり 二〇〇一年～』 有斐閣、2014年。

### 5. 準備学修の内容

毎回の課題文献・論文の指定箇所を事前に読みこみ、疑問点や興味深い点を整理しておくこと。また、報告担当者は、十分な報告準備をすることが望ましい。各回の授業で、履修者が取り組む例題とその解説については、LMSにアップロードしておくので、事前に一読するのが望ましい。履修者は自分のテーマと関係する論文や文献を見つけた上で、その内容を理解・整理した上で、報告しなければならない。テーマの発見や研究方法について、演習内でも扱う。個人研究の準備として、参考文献の伊藤(2022)や戸田山(2012)を一読することが望ましい。

### 6. その他履修上の注意事項

第10回目の授業はオンライン授業(LMSのオンデマンド形式)である。ただし、オンライン授業回を別の回に変更する可能性もある(その場合は事前に連絡をする)。

人前で発表することや、文章執筆を過度に怖がる必要はありません。心配いりません、必ずできるようになります。

### 7. 授業内容

- 【第1回】 秋学期では、春学期同様に①発表の練習、②文献の輪読を行っていく。細かな内容は参加者の意向を踏まえつつ、決定する。第1回目に、秋学期の演習内容に関する相談、発表順番の決定等をする。各回に課題文献、あるいは課題を用意する。第1回目で、その詳細を解説する。課題文献はインターネットから入手できるものにする。
- 【第2回】 リサーチクエスチョンを理解する:水源森林環境税に関する論文を輪読予定
- 【第3回】 政策過程分析について学ぶ:景観条例に関する論文を輪読予定
- 【第4回】 リサーチクエスチョンと分析手法との関係を学ぶ:これまでの課題文献を題材にする予定。
- 【第5回】 具体例から学ぶ論文の構造(1):ふるさと納税制度に関する論文を輪読予定
- 【第6回】 具体例から学ぶ論文の構造(2):ボランティアに関する論文を輪読予定
- 【第7回】 個人課題:報告のテーマ、分析手法、使用データ・資料に関する発表
- 【第8回】 先行研究の報告と討論(1):先行研究から問題の立て方を学ぶ
- 【第9回】 先行研究の報告と討論(2):先行研究からデータと資料の扱い方を学ぶ
- 【第10回】 論文の基本構造の理解と論証方法について ※この回はオンライン授業(LMSのオンデマンド形式)を予定している。「企業版ふるさと納税制度」に関する論文を読む予定。
- 【第11回】 先行研究の報告と討論(3):先行研究から論文の構造を学ぶ
- 【第12回】 分析手法の確認(1):論証の構造とデータ分析
- 【第13回】 分析手法の確認(2):記述統計について
- 【第14回】 最終報告(1)
- 【第15回】 最終報告(2)と今学期の復習